

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

## 第 4 2 号

【平成 24 年 7 月 2 日 ( 月 ) 発行】

発行：J A グループ宮城災害復興本部

編集：J A 宮城中央会

〒980-0011 仙台市青葉区

上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F

電話番号：022-264-8697 又は 264-8207

FAX 番号：022-216-4466

E-mail：jataisaku@gmail.com

### ≪目次≫

#### I. 復興本部からの情報提供

1. TPP ネットワークが発足、選出国會議員に要請
2. 県農林水産部の部課長と J A グループが意見交換会
3. JA 福井県組合長会が復旧・復興状況の視察研修に来県
4. J A 全農山形が名取市内の全小中学校にサクラambo を贈る
5. 菅原会長が NHK テレビ番組「ふるさと宮城の復興は」に出演
6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 10 次請求
7. 担い手営農復興支援ビッグフェア開催
8. 広島の姉妹ユニット「Mebius (メビウス)」が宮農高を再訪問し義援金を贈呈

#### I. 復興本部からの情報提供

##### 1. TPP ネットワークが発足、選出国會議員に要請

県内の協同組合や消費者・医療団体など 24 団体で構成する「TPP から食と暮らし・いのちを守るネットワーク宮城」が 6 月 8 日、設立されました。J A 宮城中央会の菅原章夫会長と県生協連の齋藤昭子会長が代表世話人となり、今後も幅広い団体の参加を呼び掛けていきます。約 700 人が参加した記念集会では、震災からの復旧・復興と逆行する TPP に断固反対する、との集会アピールを採択しました。

11 日には、同ネットワークを代表して菅原会長と県生協連の野崎和夫専務らが上京。選出国會議員に TPP 参加表明阻止へ緊急要請を行いました。



##### 2. 県農林水産部の部課長と J A グループが意見交換会

J A グループ宮城は 6 月 12 日、J A ビルで宮城県農林水産部の部課長と意見交換会を開き、宮城の農業復興に向けて、共に連携、協力していくことを確認しました。

県農林水産部からは山田義輝部長ほか 16 人、J A グループからは中央会、全国連県本部代表など 17 人が参加。菅原会長は放射性物質対策で「実施体制や安全検査体制について、国や県のしっかりした指導・支援を期待する」と要請しました。

### 3. JA福井県組合長会が復旧・復興状況の視察研修に来県

JA福井県組合長会の一行26人が6月18日、JA宮城中央会を訪ね、震災からの復旧・復興の状況について菅原会長らから説明を受けました。一行はこの後、JAみやぎ亘理を訪問。管内の被災圃場などを視察しました。JA福井県五連の山田俊臣会長は「これからもJAグループの仲間として復興のお手伝いをしていきたい」と、話しました。

なお、6月7日にはJA長野県組合長会の宮下勝義会長ら10人も視察研修に、JA宮城中央会を訪れました。

### 4. JA全農山形が名取市内の全小中学校にサクランボを贈る

サクランボで笑顔になってもらおうと、JA全農山形は、名取市の全小中学校の給食にサクランボを提供します。津波で校舎が使えなくなった閑上小中学校が仮校舎としている名取市の不二が丘小学校で6月27日、贈呈式を行い、全農山形の鈴木英和県本部長が、閑上小中学校と不二が丘小学校の児童・生徒代表にサクランボを贈りました。市内5中学校は6月28日に、11小学校は7月9日の給食で提供され、合わせて約7,500人が旬のサクランボを味わいます。



贈呈式にはJA全農みやぎの千葉和典県本部長も同席。全農みやぎは、今年の新米を使った米粉パンを、同じく市内全小中学校に提供します。

なお、全農山形は、被災した宮城県内の沿岸5JA（南三陸、いしのまき、仙台、名取岩沼、みやぎ亘理）の全役職員にもサクランボを贈りました。

### 5. 菅原会長がNHKテレビ番組「ふるさと宮城の復興は」に出演

NHK仙台の生放送番組「ふるさと宮城の復興は 放射線とどう向き合うか」が6月1日夜に放映されました。農業界を代表してJA宮城中央会の菅原会長が出演。村井嘉浩知事、県の除染アドバイザー・東北大学の石井慶造教授、福島市のわたり病院の医師・齋藤紀氏、消費者代表として参加した漫画家・井上きみどり氏らと意見を交わしました。

菅原会長は、風評被害に苦しむ農家の現状を伝え、県内農産物は安全なものしか流通していないので、安心して食べてほしい、と訴えました。



## 6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第10次請求

J Aグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は6月20日、東京電力への第10次請求を9億978万1,105円とすることを決め、6月29日に請求しました。

東電からは6月28日に、第4次～第8次請求の稲わら、第6次～8次請求の肉牛、廃用肥育牛、廃用牛、第7・8次請求の牧草、原木シイタケなどの分として、約15億4700万円が仮払い金として、県協議会に入金。各J Aなど協議会構成団体宛に支払われました。

## 7. 担い手営農復興支援ビッグフェア開催

J Aグループ宮城は6月29、30日、仙台市宮城野区の特設会場で「担い手営農復興支援ビッグフェア2012 in 宮城」を開きました。田植え機やトラクター、コンバインなど最新の農業機械がずらりと並び、営農情報コーナーでは、最新技術の他、東日本大震災からの復興取り組み事例も紹介しました。

また、チャリティーオークションも行い、収益金は被災地に贈ることにしています。



## 8. 広島の姉妹ユニット「Mebius (メビウス)」が宮農高を再訪問し義援金贈呈

広島県を中心に活動する姉妹ユニット「Mebius (メビウス)」が6月26日、宮城県農業高校を再訪し、チャリティーライブの収益金を義援金として贈りました。同夜には同校の講堂でミニライブも行い、生徒たちを激励しました。「Mebius」は岡田真実さん、賀江さんの姉妹ユニットで、今年3月にも同校を訪れ、楽器を贈り卒業式でコンサートを開きました。

2人は「1回目の訪問でできたつながりを大事にして、これからも頑張ってもらいたい、という思いを直接会って届けたいと思い、またやってきました」と、語りました。

今回の訪問には、「Mebius」の活動を応援している、地元・広島県熊野町の商工会商業部会長（東日本大震災チャリティーライブ実行委員長）の世木田優さんと、同青年部会長の荒谷忠義さんも同行しました。

